

今週は、中学生6名が月曜日から金曜日まで5日間もいる。ふと、園長先生の出番はないのだろうかと考えた。園長講話のようなものである。私の胸の内を見透かしたように、主任の先生が、「園長先生、お願いがあるのですが」ときた。「中学生に向けてお話をしてほしいんです」やっぱりそうきたか。

というわけで、7月3日（水）に職場体験中の中学生と話をする機会ができた。「『園長先生の話聞こう』ではなく『園長先生と話し合おう』の時間です」これでスタートした。こちらが一方的に話をし、中学生はメモをしながら聞く。いわゆる講話のスタイルはよくある。そうはしたくなかった。中学生の考えを聞きたかった。一緒に考えたかった。かっこをつければ、ディスカッションである。

「人はなぜ仕事をするのですか」と問いかけてみた。一人一人6人全員から話を聞いた。表現や使う言葉は違うが、みんな自分の考えを言うことができる。感心させられた。3月まで中学校の現場にいた。中学2年生というのは、こんなにりっぱだったのか。こちらのものさしがずれてきたのだろうか。

仕事をするのは、「家族が幸せになるため」という意見が出た。さらに聞いてみた。すると、収入を得るためとなった。では、お金があればあるほど、家族は幸せなのだろうか。そうとは限らない。だが、ある程度の収入がなければ生活ができないし、幸せにもなれない。こんな感じで、中学生と意見を交わしていった。

仕事をするのは、収入のためだけか。そうではない。自分のやりたいことをやる。自分の才能や能力を生かすという面もある。画家などがそうであろう。音楽家もそうかもしれない。

他にはないか。誰かがやらなければならない仕事もある。人のため世の中のために働くということである。消防士、警察官、学校の先生などがそうである。幼稚園の先生もここに入る。いなくなったら困る。

幼稚園の先生になるためにはどうすればよいか。大学に行く必要がある。そこから、高校と大学についても簡単に学んだ。意欲的な中学生であったため、幼稚園、保育所、認定こども園などの動向についても説明した。現在は中学2年生だが、彼女たちが社会に出る頃には、世の中の様々なことが変わっているはずである。幼稚園を取り巻く状況も変わっていくことだろう。知識や情報は、常に更新していかなければならない。

わずか40分ほどであったが、充実した時間となった。残り2日間で、「子どもたちと質のよい時間を過ごしたい」という話をしてくれた生徒もいた。彼女たちにとって、本日が職場体験の最終日となる。幼稚園の先生という仕事を通して、働くということはどういうことか。社会に出るために必要なことは何か。今の自分がやるべきことは何か。この5日間で、このようなことを考えるきっかけになってくれればと思う。笹谷幼稚園に来てくれた6人の中学生が、これから思い悩みながらも、力強く自分の人生を歩んでくれることを願っている。